

主な記事

- 1面 第20期第5旅団レンジャー夜貂戦闘隊全ての任務を完遂して帰還
- 2面 ママチャリ耐久6時間レース
新着任部隊長等紹介
- 3面 モルックサークルを創設
チビッコキャンプ・夏休みちびっこ大会
- 4面 おんねゆ温泉まつりに参加

ひがし北海道 5th BRIGADE だより

陸上自衛隊
第5旅団広報紙
発行所
第5旅団司令部
総務課 広報班

第247号(1)
2024. 9



第20期第5旅団レンジャー 夜貂戦闘隊 全ての任務を完遂して帰還



第5旅団は、7月29日(月)、帯広駐屯地において、令和6年度第5旅団レンジャー集合教育(第4普通科連隊が担任)き章授与式を実施し、新たなレンジャー隊員の榮譽を讃えました。

同教育は5月7日(火)から開始し、レンジャー隊員になるために必要な知識や技術を学ぶとともに、様々な厳しい訓練を乗り越え、精鋭17名がレンジャー隊員となりました。

式に先立ち、各部隊がのぼりを掲げ、盛大な出迎えの中、行動訓練の全任務を完遂したレンジャー学生が帰還し、授与式では、旅団長より学生一人ひとりに対して光り輝くレンジャーき章を授与しました。晴れてレンジャー隊員になった17名は、各部隊からの激励において、ご家族、上司や同僚との久しぶりの再会に喜びの表情を見せるとともに、レンジャー隊員になって帰ってくることを信じてずっと待っててくれた彼女に、き章授与式の場で結婚指輪を渡すサプライズなどもあり、あまりの嬉しさにご家族が涙を流す場面もありました。

レンジャー隊員になった17名は、「全ての任務を完遂した嬉しさに涙が止まらなくなりました。仲間と支え合っただけだからこそ、今の自分があります。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。今後はレンジャー隊員としてふさわしい人間になれるよう、日々精進していきます」と感謝と今後の抱負を述べました。

第20期 第5旅団レンジャー 夜貂戦闘隊



令和6年7月29日

担任 第4普通科連隊

第5旅団 YouTube
において、教育開始から
レンジャー隊員になるま
での物語を紹介していま
す。



ママチャリ耐久レース 6時間

司令部付隊が参加

力を合わせて優勝！！

第5旅団司令部付隊（隊長 工藤3佐）は、8月17日（土）、更別村十勝スピードハイウェイにおいて、ママチャリ耐久レース実行委員会が主催の全日本ママチャリ耐久レースに参加しました。

ママチャリ耐久レースは、十勝スピードウェイが発祥の地と言われ、1週3.4kmのコースを1チーム最大10名で、交代しながら6時間走り続ける過酷なレースです。司令部付隊は、「OVER350の部」にサーキットの狼A＝平均年齢47歳に8名1コチーム、サーキットの狼B＝平均年齢46歳に9名1コチームの計2コチームが参加して、見事なペダル漕ぎの速さ、鍛え抜かれた体力とチームワークにより、他のチームを圧倒して、1コチーム（チーム名サーキットの狼B）は「優勝」、1コチーム（チーム名サーキットの狼A）は「準優勝」と素晴らしい結果を獲得しました。大会終了後の工藤隊長は「体力・気力が続く限り来年もみんなで挑戦したい」と抱負を述べました。

本大会を通じて司令部付隊は、力を合わせて走り抜いたことで、更に一体感を増して、より一層の絆を深めることが出来ました。



爆走する司令部付隊の隊員

新着任部隊長等紹介



第5旅団

司令部副旅団長
兼ねて帯広駐屯地司令
井上嘉史 1等陸佐
東部方面総監部より



第5後方支援隊長

上原将愛 1等陸佐
第10師団司令部より



第5施設隊長

川浪 裕明 2等陸佐
陸上幕僚監部より



第5偵察隊長

松川 翔 2等陸佐
陸上幕僚監部より

第5旅団
YouTube
配信中

第5旅団創立20周年 帯広駐屯地創設73周年 記念行事

躍進～地域とともに～



YouTube



新たに2つの動画を配信しました！

チャンネルの登録をお願いします！

道東の守り
第五旅団

「ドラゴンクエストI」序曲

陸上自衛隊 第5音楽隊 オンラインコンサート Vol.36-37

帯広駐屯地モルックサークルを創設 モルックの十勝大会では「優勝」を果たす



第5旅団司令部に所属する山口1尉は、6月に帯広駐屯地所在隊員を対象に「帯広駐屯地モルックサークル」を創設して、現在も部員数20名で活動しています。

モルックとは、フィンランドの伝統的なスポーツであり、地面に立て並べられた12本のスキttlという木のピンをモルックと呼ばれる木の棒を投げて、獲得した点数を競い合う老若男女問わず誰でも楽しめるスポーツであり、ルールが簡単ですが、試合の運び方には戦略的な要素が必要で、とても奥が深いゲームです。本年8月には毎年開催されている世界大会が初めて函館市で開催されるとあって、国内のモルック人気は、爆発的な広がりを見せています。

山口1尉は、知人からモルックを勧められたのがきっかけで、モルックを知り、実際にやってみると、とても楽しく、モルックの歴史や日本での現状、大会などに更なる興味が沸いていきました。そんな中、モルックを通じて、職場の昼休みに部隊の垣根を越えた一体感をもって楽しみたいという思いが強まり、同モルックサークルを創設しました。創設してからのモルックサークルは、昼休みを活用して毎日練習し、8月17日(土)には、札内川園地(中札内村)において行われた十勝大会に2コチーム合わせて5名が出場し、毎日の練習で培われた冷静さと綿密な戦略により、初大会にして1コチームが見事「優勝」、もう1コチームが「準優勝」を独占して獲得しました。

今後モルックサークルは、日々の練習や大会を通じて、経験と技術力を蓄積し、地域だけでなく、国内の主要な大会や世界大会に参加していくとともに、全国の自衛隊に普及していけたらとのことです。



昼休みを活用して毎日楽しく練習



チームワークを高める



記念写真



第5施設隊(隊長 川浪2佐)は、8月6日(火)、帯広駐屯地において、夏休みちびっこ大会を、鹿追駐屯地(司令 三浦2佐)は、8月7日(水)～8日(木)の間、同駐屯地において、チビッコキャンプを実施しました。子供たちは、自衛隊でしか経験できない体験搭乗や装備品展示及び体験喫食等を楽しむとともに、夏の良い思い出作りができました。



体験搭乗



体験喫食



音楽演奏

おんねゆ温泉まつり

サラシを身に付け神輿渡御に参加

第6即応機動連隊第2中隊

第6即応機動連隊第2普通科中隊（中隊長 木村1尉）以下21名は、8月4日（日）、北見市で実施された第72回おんねゆ温泉まつりにボランティア活動として参加しました。

神輿川渡御は湯の神に感謝しようと、神輿を担いで無加川を練り歩くものであり、今年は神輿が新調され、5年ぶりに開催されました。第2普通科中隊の隊員は、神輿川渡御の担ぎ手として参加し、隊員のほか北見市役所職員、消防署員、地元の神輿会の有志等がサラシを身に付けて集まりました。

同まつりは、全道各地から訪れた大勢の観光客や市民で賑わう中、花火を合図に神輿を担ぎ、川の中を「わっしょい、わっしょい」と威勢のよい掛け声をかけ、約1000発の花火が川面を照らす灯りとともに練り歩く姿は実に勇壮であり、警備隊区の北見市のイベントに大きく貢献することができました。



神輿を担ぐ第2普通科中隊



花火が川面を照らす灯りとともに練り歩く姿は実に勇壮



自衛官等募集中

募集種目	試験日程	試験会場	受付締切	受験資格
自衛官候補生	受付時にお知らせします。	受付時にお知らせします。	年間を通し行っております。	↓自衛官候補生↓
一般曹候補生（第2回）	9月20日（金） 9月21日（土）	帯広・釧路・北見 美幌・中標津	締切 9月3日（火）	↓一般曹候補生↓
航空学生（海上・航空）	9月16日（月）	帯広駐屯地又は本部（帯広会場） 釧路合同庁舎（釧路会場） 北見地域事務所（北見会場）	締切 9月5日（木）	↓航空学生↓
防衛医科大学校看護学科学生（自衛官候補看護学生）	10月12日（土）	帯広駐屯地又は帯広地本本部	締切 10月2日（水）	↓防医看護↓
防衛医科大学校医学科学生	10月19日（土）		締切 10月9日（水）	↓防医大↓
防衛大学校（一般）	11月2日（土）	帯広駐屯地又は本部（帯広会場） 釧路合同庁舎（釧路会場） 北見地域事務所（北見会場）	締切 10月17日（木）	↓防衛大学↓ 検索してね！

☆お問い合わせ先 自衛隊帯広地方協力本部 募集課
(0155)23-5882・内線:8-18-2704(FAX兼)



帯広地本 検索

Instagram

Facebook



陸上自衛隊第5旅団【公式】エックス

ぜひご覧ください！

検索
第5旅団
ホームページ



各種イベントや部隊の紹介、過去の「ひがし北海道だより」など情報が盛りだくさん！ぜひ！クリックを！